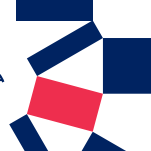


グランシップ20周年記念

公認プログラム



# エイフマン バレエ ロダン ～魂を捧げた幻想

【台本・振付・演出】ボリス・エイフマン

【音楽】ラヴェル、サン＝サーンス、マスネ、ドビュッシー、サティ

【出演】エイフマンバレエ  
from サントペテルブルグ

20年の沈黙を破り

この衝撃を静岡で

Eifman  
Ballet  
Saint-Petersburg

Photo by  
Souheil Michael Khoury

2019.7.15 (月・祝) | 15:00開演 (14:30開場)  
グランシップ 中ホール・大地 (JR東静岡駅南口隣接)

全席指定 S席 9,800円 A席 8,700円 B席(2階席) 7,500円 子ども・学生 1,000円

友の会先行販売: 3/24(日)~3/30(土) 一般発売: 3/31(日)~

※未就学児入場不可、子ども・学生は28歳以下の学生 ※グランシップ友の会会員特典対象事業

※「静岡県高校生アートラリー」対象事業

※公演1週間前に残席がある場合、定価より2割引きになります。(子ども・学生は除く)

チケット販売・お問い合わせ

グランシップチケットセンター

TEL 054-289-9000 (10:00~18:30/休館日を除く)

グランシップWEBサイトからは空席状況に応じてお好きな席を購入できます。

<http://www.granship.or.jp>

グランシップ

検索

主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県  
後援:静岡県教育委員会、静岡市教育委員会 協力:静岡県立美術館

文化庁文化芸術振興費補助金  
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会





ロシアバレエ界の生きる伝説と言われるボリス・エイフマン。

「考える人」や「地獄の門」で知られる彫刻家ロダンの世界を演劇的・アートの描く。

ダンサーたちの鍛え上げられた肉体美が大理石彫刻を思わせるほど神々しく、心奪われるステージ。

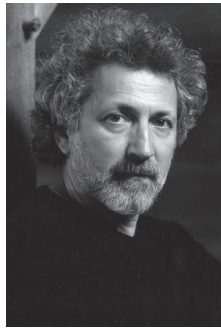


Photo by Yulia Kudryashova

## ボリス・エイフマン

Boris Eifman

ロシア・ルブツォフスク生まれ。ロシア人民芸術家、ロシア連邦賞受賞。レニングラード音楽院バレエマスター科の卒業制作「ガイヌ」(1972年)で振付家として華々しいデビューを飾り、名門ワガノワ・バレエ学校や、キーロフ歌劇場バレエ(現マリインスキー・バレエ)への創作を経て、1977年レニングラード・ノーヴィ・バレエ団(現エイフマン・バレエ)を設立。数々のヒット作を発表し、現在に至るまで世界各地でセンセーションを巻き起こしている。ダイナミックでアクロバティックな独特の舞踊言語と、どこまでも深く登場人物の心理を掘り下げる手法で、そのバレエは時に「哲学バレエ」「心理バレエ」とも評される。文学作品に題材を得た作品から、自らがインスピレーションを受けた芸術家にスポットを当てた作品まで、その創作の幅は広く、音楽もクラシック作品からロックまで、巧みな選曲と構成力によって、観るものを圧倒する。



70歳を超えたいまも創作意欲は衰えるところを知らず、新しいバレエを生み出し続けるほか、時代の流れにあわせて自作を積極的に改訂し続けるなど、エネルギッシュな現役振付家。ロシアバレエ界の生きる伝説。

## エイフマン・バレエ

Eifman Ballet

振付家ボリス・エイフマンが、1977年にサンクトペテルブルクに創設。エイフマンが生み出す作品の魅力に惹かれ、ロシア全土および海外からもダンサーたちが集まり、磨き抜かれた“エイフマニズム”を体現するカリスマ的精鋭集団。男性182cm以上、女性172cm以上という入団条件をパスした才能豊かなダンサーたちが、その身体表現の限りを尽くして踊る姿は圧巻であり、他に類を見ない溢れんばかりの踊りを通じた感情表現で、ロシアをはじめヨーロッパ、アメリカ、アジア、アフリカと世界中で人気を博し、常にその来訪を待ち焦がられている。

日本には1990年に初来日。今回、21年ぶりに日本の観客の前にその姿を現す。現在、サンクトペテルブルク市によって、エイフマン・バレエの本拠地となる劇場「ダンス・パレス」が建設中であり、それに先立ち、2013年には附属のバレエ学校「ボリス・エイフマン・ダンス・アカデミー」が開校。バレエ大国ロシアにおいて、常にその話題の中心にある最も熱いバレエ団。

## あらすじ・見どころ

Synopsis / Highlight

2017年に没後100周年を迎えた、「考える人」「接吻」などの代表作で誰もが知るフランスの彫刻家オーギュスト・ロダン。彼が名声を築いた裏には、ひとりの女性の存在がありました。カミーユ・クローデル。若き才能溢れる弟子であり愛人であった彼女は、自らの愛・身体・才能のすべてをロダんに捧げ、ロダンが傑作を生み出す源となりました。クローデル自らの創作世界はロダンの名声の前には幻想に過ぎなかったのか・・・

このバレエでは、芸術家たちの創作への賞賛と、ロダンをめぐる女性たち(クローデルと、ロダンの内縁の妻ローズ)の狂おしいほど熱く切ない人生が、コケティッシュに、そして美しく描かれます。見どころは、鍛え上げられた肉体を持つダンサーたちが、ロダンの名作「カレーの市民」「地獄の門」などを想起させる“彫刻作品”となっていくシーン。ロダンの力強い彫刻が“リアルに”舞台上に生み出されていく様は、必見です。ラヴェル、サン＝サーンス、ドビュッシーなど、甘美で色彩豊かなフランス作曲家たちの音楽がめぐるめく流れる中、美しい照明と共にスピーディーに場面が切り替わり、ドキドキとワクワクの連続です。素足の脚線美が、まるで光を放つ彫刻の大理石かのように神々しく見える本作。舞台上で繰り広げられるすべての瞬間が、オリジナリティに溢れ、観る者を驚かせるアイディアに満ち、イマジネーションを刺激し、様々なインスピレーションを与えてくれる・・・そんな特別な新たなバレエとの出会い、それがこの作品。



Photo by Yulia Kudryashova



Photo by Yulia Kudryashova



Photo by Souheil Michael Khoury

## 静岡県立美術館「ロダン館」のご案内

静岡県立美術館は1986年4月開館。ロダン館は新館として1994年3月にオープンした。ロダンの《地獄の門》を中心とする32体の彫刻を、明るい大空間を散策しながら鑑賞することができる。ロダン館と隣りのブリッジ・ギャラリーには、ロダン以前・以降の彫刻もあわせて展示され、そのなかには、カミーユ・クローデルの《波》も含まれている。



### Information

〒422-8002  
静岡市駿河区谷田53-2  
(JR草薙駅または静岡鉄道県立美術館前駅)  
TEL 054-263-5755  
●開館時間  
10:00~17:30(入室は17:00まで)  
●休館日  
月曜日(祝日の場合開館・翌日休館)  
※詳細は県立美術館ホームページのイベントカレンダーをご覧ください。

## 3/24日~7/15日 限定!

エイフマン・バレエ「ロダン~魂を捧げた幻想」  
グランシップ公演のチケットをお持ちのお客様  
(1枚につき1回)

【静岡県立美術館 ロダン館収蔵品展】  
観覧料 300円→200円にご優待

本公演チケットをご提示ください。(大学生以下・70歳以上:無料)  
※企画展は対象外です。

### 交通アクセス

- ・ JR東静岡駅南口隣接。
- ・ 静岡鉄道長沼駅徒歩10分。
- ・ 東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- ・ 車では、東名高速道路静岡I.Cから20分。新東名高速道路新静岡I.Cから15分。静岡バイパス千代田上土I.Cから10分。公演当日は混雑が予想されます。公共の交通機関をご利用ください。

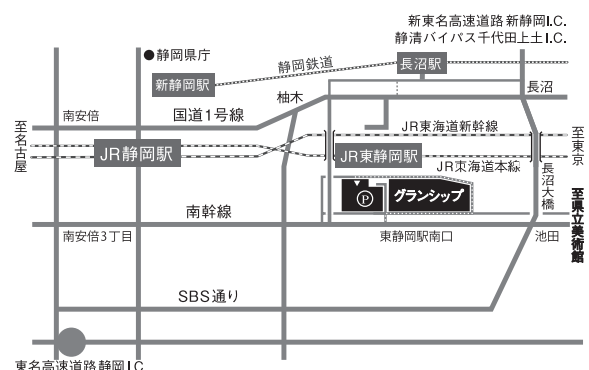
### 託児案内

ボランティアスタッフによる託児サービス(無料、2歳以上の未就学児)をご利用の方は公演1週間前までにご連絡ください。定員になり次第締め切らせていただきます。

- 車椅子でご来場の方は、公演前日までにご連絡ください。  
【託児サービス及び車椅子での来場のお問い合わせ】  
(公財)静岡県文化財団事業課 TEL.054-203-5714



2019  
静岡県文化プログラム



〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2丁目3番1号  
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団  
http://www.granship.or.jp/



2019  
静岡県文化プログラム